

ダイアグノシスツールキット取扱説明書

このたびはダイアグノシスツールキットをお買い上げ頂き、ありがとうございます。
本取扱説明書はダイアグノシスツールキットを正しくご使用頂くためのものです。
ご使用前によくお読み頂きますようお願い申し上げます。

適用モデル： VF53BS[-Ti], VF63BS[-Ti/R], VF53AS[-Ti], VF63AS[-Ti/R], VE20AS, VE25AS, LE700A
(バッテリーが装備されない VE20A, VE25A については適用外となります)

同梱品一覧：

番号	名称	備考
①	ダイアグノシスツール (ダイアグ本体)	裏にインストラクションラベル有り (Wi-Fi 接続情報、QR コード)
②	アダプタケーブル	VF53AS[-Ti], VF63AS[-Ti/R]専用
③	取扱説明書	本紙

ご準備いただく物：

Wi-Fi に接続することができるデバイス

(スマートフォンなどの携帯電話、タブレット、パソコン 他)



使用上の注意

- ・ダイアグ本体に耐水耐塵性はありません。水に濡れたり、ほこりや砂などが入らないよう注意してください。
- ・ダイアグ本体 1 つに対し、最大 5 個までのデバイスを同時に接続することが可能ですが、通信速度が低下します。
- ・エンジンを停止したり、ファンクションテストのオートパワーオフを実行するとダイアグ本体の電源も切れます。もう一度ダイアグをする場合はダイアグ本体をポンプと接続し、デバイスの Wi-Fi を設定してください。
- ・ポンプのメインスイッチを ON にし、ダイアグ本体の接続のボタンを LED が白く点灯するまで長押しすると、言語の切り替えが出来ます。日本語と英語の 2 言語となります。一度言語を切り替えると、その言語の状態を記憶します。可搬消防ポンプのメインスイッチを ON にした際、ダイアグ本体の LED が赤であれば日本語、橙であれば英語の状態を表します。

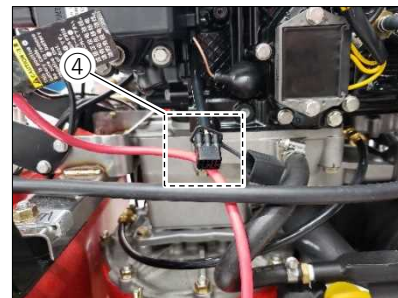


ポンプとの接続方法

1)ダイアグを行うポンプに取付けます。

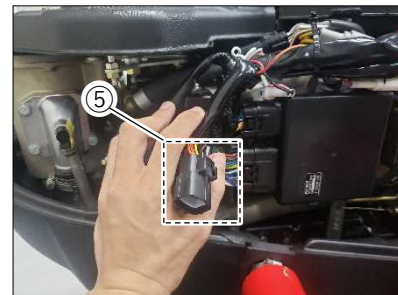
VF53BS[-Ti], VF63BS[-Ti/R]

トップカウルを外し、ECU の下部にあるカプラ④にダイアグ本体を取付けます。



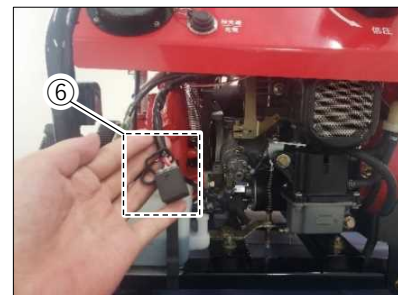
VF53AS[-Ti], VF63AS[-Ti/R]

トップカウルを外し、ダイアグ本体にアダプタケーブル②を接続し、ECU の左側にあるカプラ⑤に取付けます。



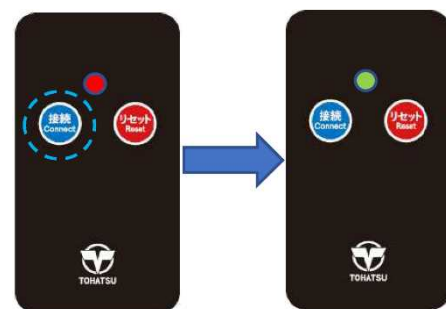
VE20AS, VE25AS, LE700A

オペレーションパネル裏側にあるカプラ⑥にダイアグ本体を取付けます。



2)ポンプのメインスイッチを ON にします。ダイアグ本体の LED が赤く点灯したら接続のボタンを押してください。LED が緑に点灯したら接続完了です。

※LED が赤点滅若しくは赤点灯に戻った場合は一度リセットボタンを押してから再度接続のボタンを押してください。



3)デバイスを機内モードにしてください。

※ここでは携帯電話 (iPhone) の画面を例にしてご説明します。



4)デバイスで Wi-Fi の設定を開き、「 **DIAG** 」を選択します。

初めて「 **DIAG** 」を選択した場合はパスワードを求められます。

パスワードは「 **12345678** 」で、次回以降は省略できます。

※パスワードはダイアグ本体裏のインストラクションラベルでも確認できます。



5)ブラウザでダイアグに接続します。

URL <http://192.168.4.1>

※デバイスのカメラ機能もしくは QR コードリーダーを起動し、ダイアグ本体裏のインストラクションラベルにある QR コードを読み込むことで簡単に接続することが出来ます。

右写真はカメラ機能で QR コードを読み込んだ状態となります。黄色く出ている URL をタップするとダイアグに接続できます。



6)ダイアグのトップ画面において ECU バージョンが接続しているモデルと合致していることを確認してください。

1BM : VF53BS[-Ti], VF63BS[-Ti/R]

1K1 : VF53AS[-Ti], VF63AS[-Ti/R]

1AT : VE20AS, VE25AS, LE700A

※もしモデルが異なっている場合はダイアグ本体のリセットボタンを押し、2)からやり直してください。



7)ダイアグのトップ画面より、各項目からダイアグ操作を行ってください。

エンジンのモデルによりダイアグ操作可能な項目数が変化します。

ポンプ接続時のダイアグ項目

障害物などが無ければダイアグ本体の電波は最大 100m 程度まで届きます。

- ①エンジンモニタ 運転中のエンジンの回転数や大気温度、大気圧、エンジン温度、*バッテリー電圧などのコンディションを確認できます。

*VE20AS, VE25AS は正しいバッテリーの電圧が表示されず、0.60V と表示されます。

- ②故障診断履歴 エンジン最高温度の履歴や電子部品が故障した履歴と回数を確認できます。エンジンを運転させた場合、壊れている電子部品は故障回数が増えることも確認できます。

- ③ESG 履歴 エンジンが ESG (Engine Safety Governor) によりエンジン回転数が制御された過去 5 回の履歴を確認できます。過回転防止の高速 ESG と、センサ類故障や油圧低下による ESG とエンジンオーバーヒートによるエンジン停止がカウントされる低速 ESG の 2 種類があります。

- ④ファンクションテスト (エンジン停止時に使用)
..... 電子部品の機能を確認することが出来ます。

- ⑤ランニングテスト (エンジン運転中に使用)
..... エンジンが運転中に使用する項目です。各インジェクタ及びイグニッションコイルの機能を遮断してエンジンの運転状況が変化するかを確認できます。

- ⑥故障履歴クリア エンジン最高温度の履歴や電子部品の故障回数を消すことが可能です。故障履歴を消した後、エンジンを運転することで、故障している部品を断定することが可能です。



コントロールパネルとの接続方法

適用モデル： VF53BS-Ti, VF63BS-Ti, VF63BS-R

- 1) ダイアグを行うポンプのトップカウルを外し、コントロールパネルのシールラバーを外してください。

シールラバーは接着されておりません。

シールラバー



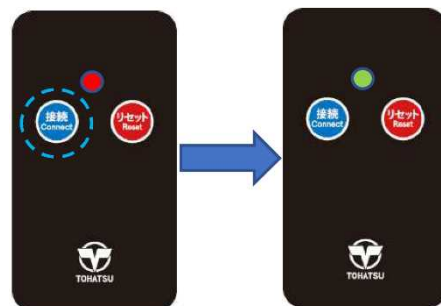
- 2) ヒューズボックス側のコントロールパネル裏上部にあるダイアグ用のカプラにダイアグ本体を取付けます。



- 3) ポンプのメインスイッチを ON にします。ダイアグ本体の LED が赤く点灯したら接続のボタンを押してください。LED が緑に点灯したら接続完了です。

※LED が赤点減若しくは赤点灯に戻った場合は一度リセットボタンを押してから再度接続のボタンを押してください。

- 4) お手持ちのデバイスとダイアグの接続は同様の操作です。
ダイアグノシスツール取扱説明書を参照してください。



コントロールパネル接続時のダイアグ項目（ホーム画面）

デバイスで表示されるダイアグ表示におきましては、Ti タイプ及び R タイプ共に同一のプログラムで表示されます。ご確認される項目のお間違えにご注意ください。

ホーム画面の項目

バージョン：

コントロールパネルのバージョンを示します。
(選択は出来ません)

コントロールパネルモニタ：

コントロールパネルの現在のモード、状態及びコントロールパネルに付するセンサ類やアクチュエータ類の接続の有無を確認することが出来ます。

詳細と注意点は別頁を確認してください。

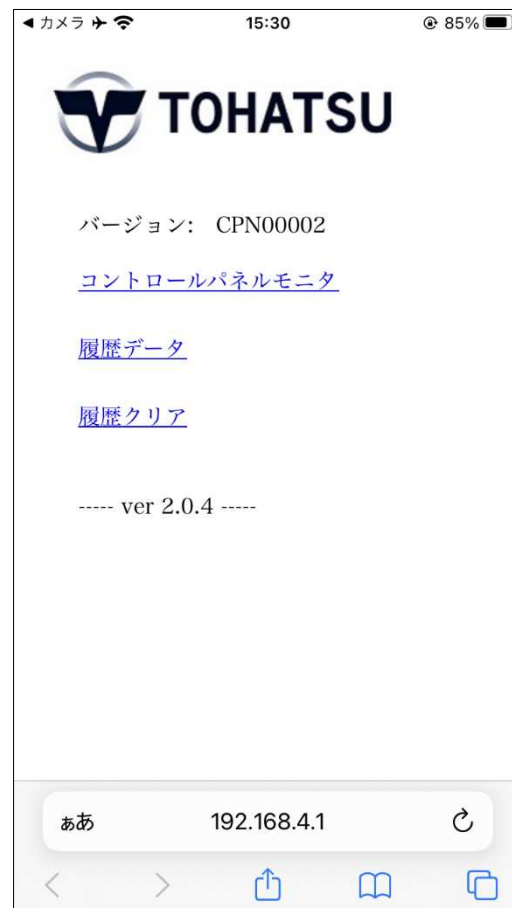
履歴データ：

ポンプの運転された累積時間や各センサ類のエラーの累積時間が表示されます。この累積時間はコントロールパネルに電源が入った時点でカウントされますので、エンジンの運転時間についてはポンプ側のダイアグで確認出来ます。

詳細と注意点は別頁を確認してください。

履歴クリア：

コントロールパネル内の情報の履歴を消去し、履歴データの累積時間をリセットします。



Ti タイプのコントロールパネル 【VF53BS-Ti, VF63BS-Ti】

コントロールパネルモニタ選択時画面の記載項目

①動作モード：

現在のポンプの状態を表示します。

動作モード	状態
【単独】	待機、エンジンスタート、運転中
【リモート】	待機、エンジンスタート、吸水待機、吸水中、吸水終了、運転中
エラー待機	

②電子スロットルの状況及び不具合状況：

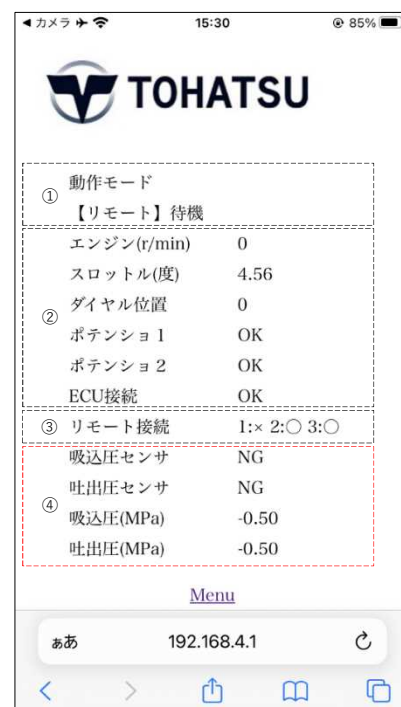
スロットルの開度とダイヤルの位置が表示されます。また、運転中はエンジン回転数が表示されます。ポテンショ 1 若しくは 2 が NG となった場合、オペレーションパネルではスロットルエラーが表示されます。

③リモート接続：

リモートパネルアッシとの接続状態を確認出来ます。複数のリモートパネルを接続した場合の ID 設定と取り付け順番を事前にご確認ください。

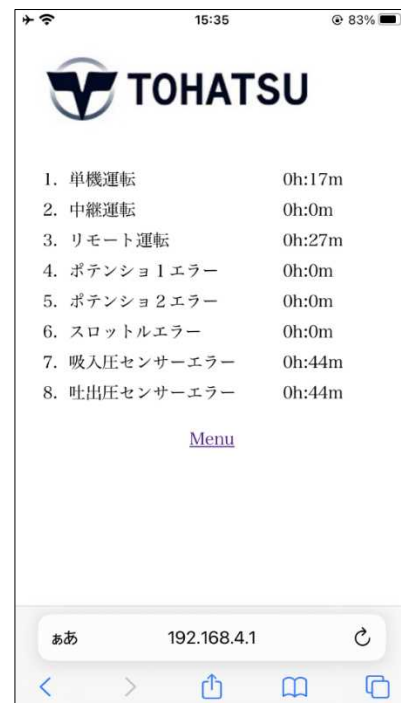
④中継ポンプ用の情報：

Ti タイプでは装備していないため、常時 NG 表記となります。



履歴データ選択時画面の記載項目

1. 単機運転： リモートパネルを接続していない状態での電源 ON（運転中含む）の累積時間が表示されます。
2. 中継運転： Ti タイプでは累積時間はカウントされません。
3. リモート運転： リモートパネルを接続している状態での電源 ON（運転中含む）の累積時間が表示されます。
4. ポテンショ 1 エラー： 不具合が生じているポテンショメータの不具合累積時間が表示されます。
5. ポテンショ 2 エラー： 不具合が生じているポテンショメータの不具合累積時間が表示されます。
6. スロットルエラー： ポテンショの不具合及びその他の原因によりスロットル操作が出来ない不具合累積時間が表示されます。
7. 吸入圧センサーエラー： 装備されていないため電源 ON（運転中含む）の累積時間が表示されます。
8. 吐出圧センサーエラー： 装備されていないため電源 ON（運転中含む）の累積時間が表示されます。



R タイプのコントロールパネル 【VF63BS-R】

コントロールパネルモニタ選択時画面の記載項目

①動作モード：

現在のポンプの状態を表示します。

動作モード	状態
【単独】	待機、エンジンスタート、運転中
【中継】	待機、エンジンスタート、15 秒待機、 エア検出 30S 待機、運転中、停止
エラー待機	

②電子スロットルの状況及び不具合状況：

スロットルの開度とダイヤルの位置が表示されます。また、運転中はエンジン回転数が表示されます。ポテンショ 1 若しくは 2 が NG となった場合、オペレーションパネルではスロットルエラーが表示されます。

③リモート接続：

R タイプでは装備していないため、常時×の表記となります。

④中継ポンプ用の情報：

各センサの状態を表示します。

TOHATSU	
① 動作モード	【単独】待機
エンジン(r/min)	0
スロットル(度)	4.44
② ダイヤル位置	0
ポテンショ 1	OK
ポテンショ 2	OK
ECU接続	OK
③ リモート接続	1:× 2:× 3:×
吸込圧センサ	OK
吐出圧センサ	OK
④ 吸込圧(MPa)	0.01
吐出圧(MPa)	-0.00
Menu	
ああ	192.168.4.1

履歴データ選択時画面の記載項目

- 単機運転： 単機運転モードでの電源 ON（運転中含む）の累積時間が表示されます。
- 中継運転： 中継運転モードでの電源 ON（運転中含む）の累積時間が表示されます。
- リモート運転： R タイプでは累積時間はカウントされません。
- ポテンショ 1 エラー：不具合が生じているポテンショメータの不具合累積時間が表示されます。
- ポテンショ 2 エラー：不具合が生じているポテンショメータの不具合累積時間が表示されます。
- スロットルエラー：ポテンショの不具合及びその他の原因によりスロットル操作が出来ない不具合累積時間が表示されます。
- 吸入圧センサーエラー：吸入圧センサに不具合が生じた場合の不具合累積時間が表示されます。
- 吐出圧センサーエラー：吐出圧センサに不具合が生じた場合の不具合累積時間が表示されます。

TOHATSU	
1. 単機運転	0h:1m
2. 中継運転	0h:1m
3. リモート運転	0h:0m
4. ポテンショ 1 エラー	0h:0m
5. ポテンショ 2 エラー	0h:0m
6. スロットルエラー	0h:0m
7. 吸入圧センサーエラー	0h:0m
8. 吐出圧センサーエラー	0h:0m
Menu	
ああ	192.168.4.1